

下肢牽引用Vアタッチメント (下肢牽引用V字アタッチメントⅡ) 取扱説明書

目 次

1. はじめに.....	2
2. 構成.....	4
3. 使用方法.....	5
4. 保守・点検.....	10
5. 仕様.....	11

本製品は手術を目的として設計されています。手術以外の目的で使用すると重大な事故を起こすおそれがあります。

操作や保守を行う者は必ず注意事項等情報および本書を読んで内容を理解してください。本書は、本製品に関わる者の参考のために適切な収納場所に保管して、必要なときに読めるようにしてください。

1. はじめに

1-1. 本書について

本書は、本製品を安全に、効果的にご使用いただくための取扱説明書です。
本製品をご使用いただく前に、必ず本書を読み、操作・点検事項を十分理解してから使用してください。本書に従わなかった場合、重大な事故に結びつくおそれがあります。

本書の警告および注意内容、または本製品に貼り付けた警告および注意内容を理解していただくため、安全のための情報を以下のように使い分けています。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的障害の発生が想定される内容を示しています。

補足

この表示は、製品の機能について補足事項を示しています。

本書に記載されている操作・点検に関する注意事項は、本製品を手術の目的に使用する場合に関するものです。手術以外の目的に使用する場合、および本書に記載されていない操作・点検を行う場合の安全については、すべて使用者側の責任になります。

1-2. 本製品について

本製品は手術台に付属するアクセサリです。本製品は牽引手術時に下肢牽引装置を取り付けることを目的としています。

病院の手術室において、使用方法を熟知した医師・看護師・医療機器の技術者が使用してください。



患者の任意の体位を確保するために手術台アクセサリで支持するときは、常に患者の状態を監視してください。長時間の体位保持は神経麻痺や褥瘡の原因になります。



- ・他社製手術台では使用しないでください。他社製手術台での使用可能は確認していません。
- ・手術台を作動するときは他のアクセサリやテーブルトップとの接触・干渉に注意してください。
- ・衛生のため、患者が本製品に触れる部分には必ず滅菌済ドレープを使用してください。

1-3. 保証について

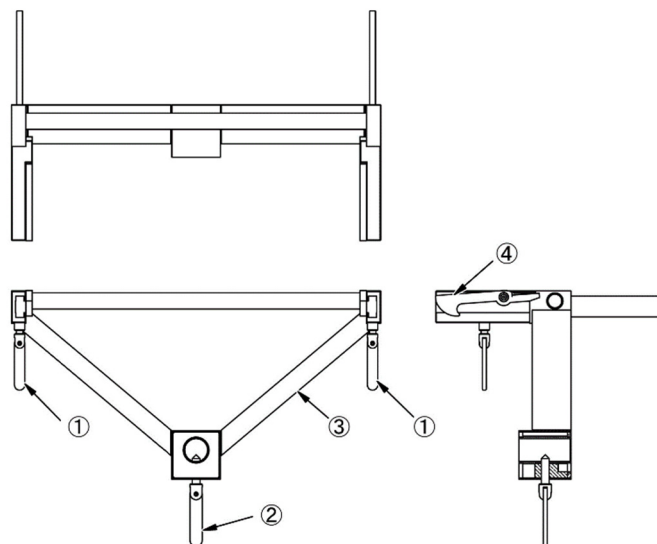
本製品は下記の保証修理規定に従って修理いたします。

1. 保証期間は納品／設置日から1年間です。保証期間内に注意事項等情報・取扱説明書・貼付ラベル等の注意書に従ったご使用で故障した場合には無償修理をさせていただきます。
2. 修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店又は弊社営業所にお申しつけください。お申しつけに当たっては以下の内容をご連絡ください。
 - (ア) 型名
 - (イ) REF・LOT番号（製品に貼り付けしているラベルをご確認ください）
 - (ウ) 故障の状態
3. 保証期間内でも以下の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (ア) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (イ) お買い上げ後の設置場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷。
 - (ウ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
 - (エ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
 - (オ) 消耗製品が自然劣化し消耗部品を取り替える場合。
 - (カ) 前各号に掲げる場合のほか、故障の原因が、お客様の使用方法にあると認められる場合。
4. 保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は弊社営業所にお問い合わせください。
5. 本規定は日本国内においてのみ有効です。

以上

2. 構成

下肢牽引用V字アタッチメントⅡ



構成品名		原材料
①	固定ハンドル	ステンレス鋼
②	アーム固定ハンドル	ステンレス鋼
③	V字アタッチメント	ステンレス鋼
④	安全用フック	ステンレス鋼

3. 使用方法

手術台の操作方法の詳細は、手術台の取扱説明書をご参照ください。
下肢牽引装置各製品の使用方法の詳細は、取扱説明書 CK08-115-01 をご参照ください。



- ・ 締結部の固定は必ず確認してください。ゆるんだ状態では機器が外れたり、動いたりして患者に障害が起きるおそれがあります。
- ・ 下肢牽引用V字アタッチメントⅡを取り付けるときは、手術台サイドレールに差し込めるところまで差し込んだことを確認してから固定してください。不十分な差し込みの状態では機器が外れたり、動いたりして患者に障害が起きるおそれがあります。
- ・ 手術台サイドレールへの取り付け時に安全用フックが上がっていないことを確認してください。安全用フックが上がった状態では、フック機能が不十分になります。
- ・ 下肢牽引用V字アタッチメントⅡを使用するときは、手術台のライド機能を中点位置にしてください。中点位置以外で使用すると不安定な状態となり、転倒するおそれがあります。
- ・ アーム（牽引装置アームおよび展開アーム）を付属品カートから下肢牽引用カート※に移動するときは、必ず2人以上で行ってください。落下して破損・けがをするおそれがあります。



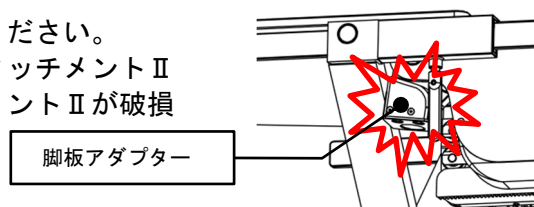
- ・ 下肢牽引用V字アタッチメントⅡを取り付けた状態では、手術台の中点位置より頭側にスライドした位置で下降しないでください。アーム固定ハンドル先端がコラムに接触して破損するおそれがあります。
- ・ 下肢牽引用V字アタッチメントⅡと手術台を接続後、手術台を上昇させ、下肢牽引用カートからアームを離す前に、アーム固定ハンドルが締まっていることを確認してください。

※下肢牽引用カートは別販売品です。

MOT-VS700との組み合わせ使用について

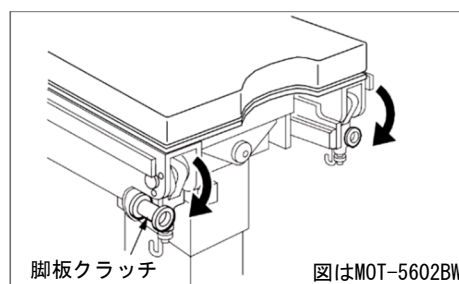


復帰または脚板上げ操作をしないでください。
脚板アダプターと下肢牽引用V字アタッチメントⅡが接触し、下肢牽引用V字アタッチメントⅡが破損するおそれがあります。

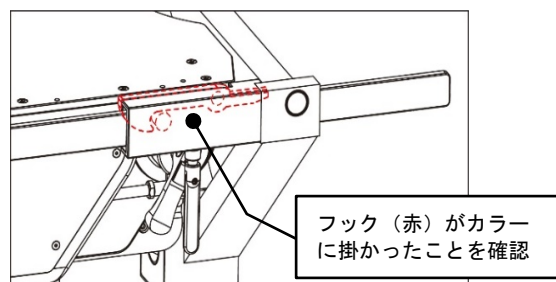


<取付方法> 先に下肢牽引用V字アタッチメントⅡのみを手術台に取り付ける場合

1. 手術台のテーブルトップを水平位置およびスライドを中点位置にします。
2. 手術台の脚板を取り外します。
(MOT-5602BW、MOT-5602SRMB、MOT-VS700は、脚板を外した後に脚板クラッチ、脚板差込部を90度下げます。)

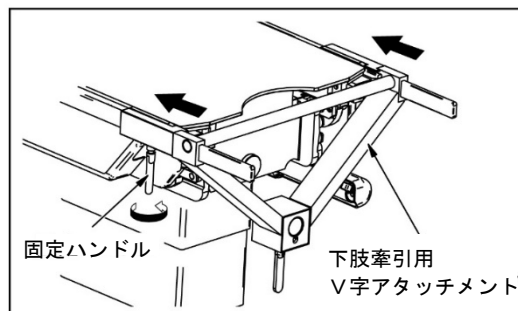


3. 本製品を手術台の腰板のサイドレールに差し込めるところまで差し込みます。
このときに安全用フックが手術台のカラーに掛かったこと、安全用フックが上がっていないことを確認します。

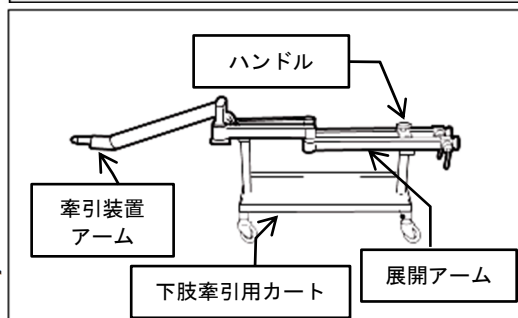


補足：MOT-5602BW、MOT-5602SRMB、MOT-VS500SK、MOT-VS500DKは本製品のフレームが手術台と当たるまで差し込みます。

4. 左右の固定ハンドルを回して固定します。



5. アーム（牽引装置アームおよび展開アーム）を付属品カートから下肢牽引用カートへ移動しハンドルを回して固定します。

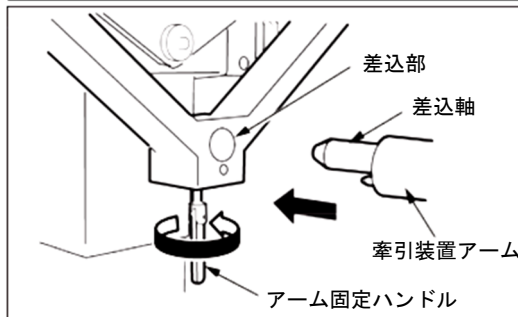


6. 手術台のテーブルトップがスライド作動範囲の中心位置であることを確認し、本製品の差込部と差込軸の高さが同じになるように手術台を昇降操作し、高さを調整します。

7. 本製品のアーム固定ハンドルを回してゆるめます。

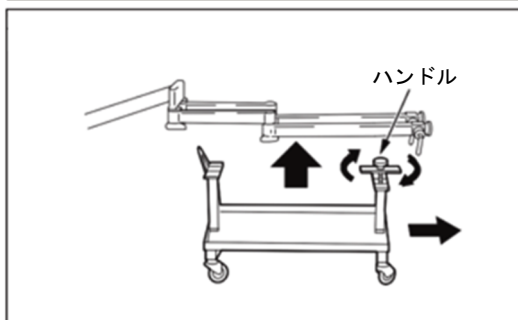
8. 牽引装置アームの差込軸を本製品の差込部へ完全に差し込みます。

9. アーム固定ハンドルを回して固定します。

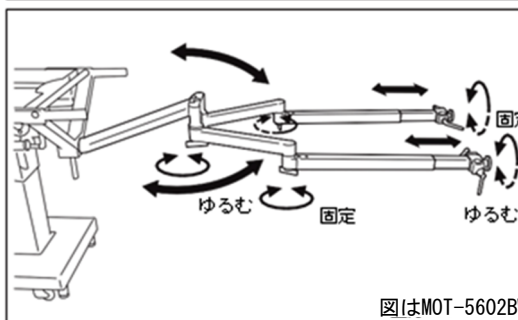


10. 下肢牽引用カートのハンドルをゆるめて、アームが離れる状態にします。

11. 手術台の操作ボックスで上昇を操作します。下肢牽引用カートからアームが離れたら、下肢牽引用カートを移動します。

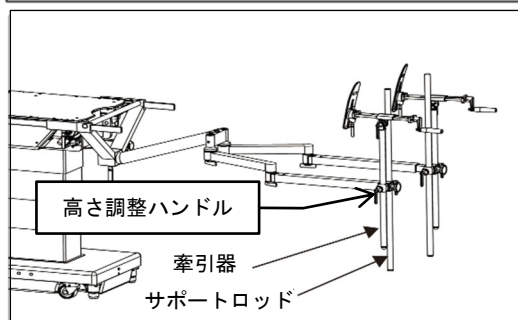


12. 展開アームの屈折および伸縮ハンドルを操作してセットします。



図はMOT-5602BW

13. 展開アーム先端の差込部の内側にサポートロッド、外側に牽引器を取り付け、高さ調整ハンドルを回して固定します。

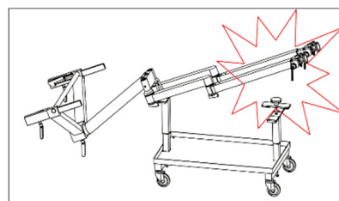
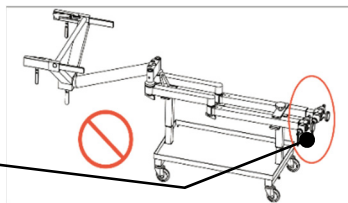


＜取付方法＞ 先に下肢牽引用V字アタッチメントⅡと牽引装置アーム・展開アームを接続させた場合本運用方法は下肢牽引用V字アタッチメントⅡのみ適用します。



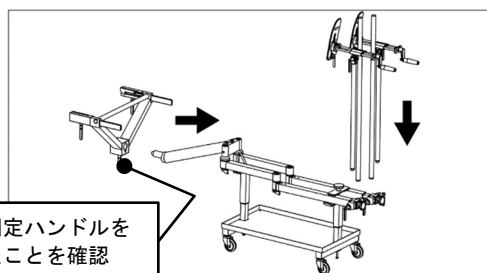
- ・下肢牽引用V字アタッチメントⅡを取り付けるときは、牽引器・サポートロッドも同時に取り付けてください。下肢牽引用V字アタッチメントⅡだけを下肢牽引用カートに取り付けると積載物が転倒するおそれがあります。

牽引器・サポートロッドも取り付けること



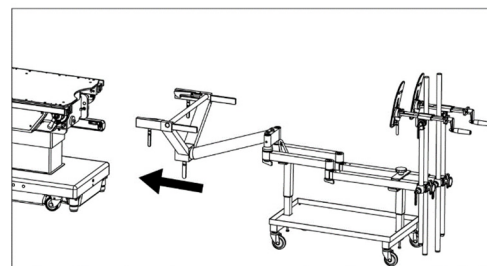
1. アーム（牽引装置アームおよび展開アーム）を付属品カートから下肢牽引用カートに移動します。

2. 下肢牽引用カートに積載した牽引装置アーム・展開アームに、本製品・牽引器・サポートロッドを取り付けます。

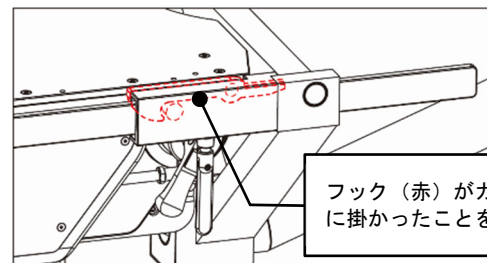


アーム固定ハンドルを固定したことを確認

3. 本製品の取り付け位置（手術台の高さ・スライド作動範囲の中心）が正しいことを確認します。



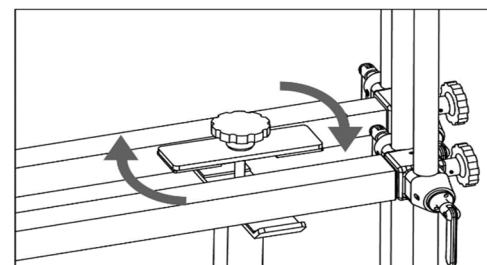
4. 下肢牽引用カートに積載した本製品を手術台の腰板のサイドレールに差し込めるところまで差し込みます。
このときに安全用フックが手術台のカラーに掛かったこと、安全用フックが上がっていないことを確認します。



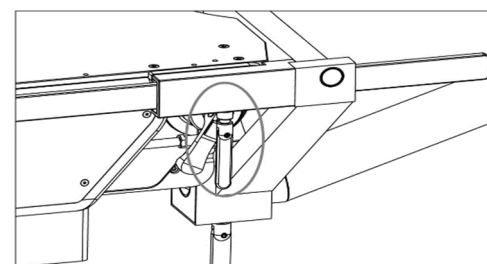
フック（赤）がカラーに掛かったことを確認

補足：MOT-5602BW、MOT-5602SRMB、MOT-VS500SK、MOT-VS500DKは本製品のフレームが手術台と当たるまで差し込みます。

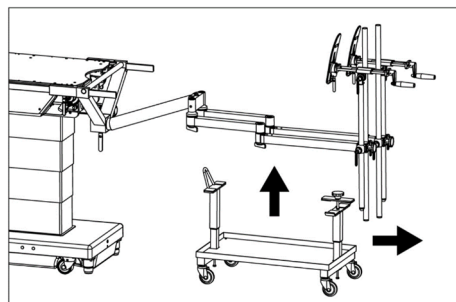
5. 下肢牽引用カートのハンドルを回してゆるめます。



6. 本製品の固定ハンドルを回して固定します。

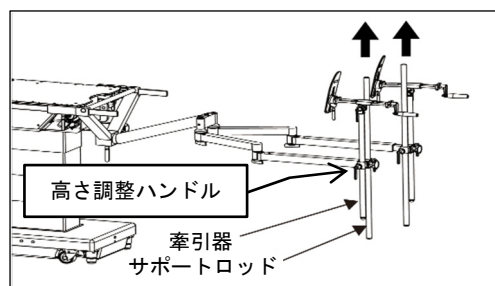


- 手術台の操作ボックスで上昇を操作します。
下肢牽引用カートからアームが離れたら、下肢牽引用
カートを移動します。

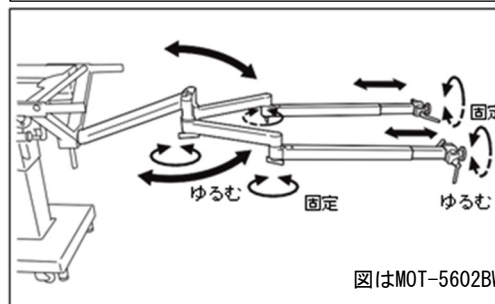


<取外方法> 先に牽引装置アーム・展開アームを取り外す場合

- 展開アーム先端の差込部の内側からサポートロッド
、外側から牽引器を取り外します。



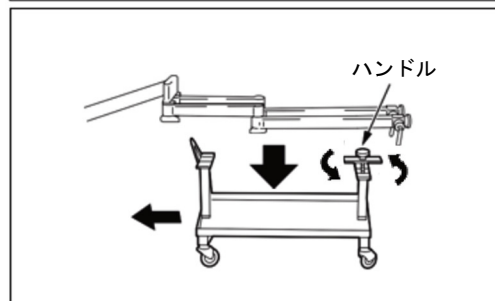
- 展開アームの屈折および伸縮ハンドルを操作して
セット解除します。



- 展開アームを右図に示すように一直線にします。

- 展開アームの真下に下肢牽引用カートを移動します。

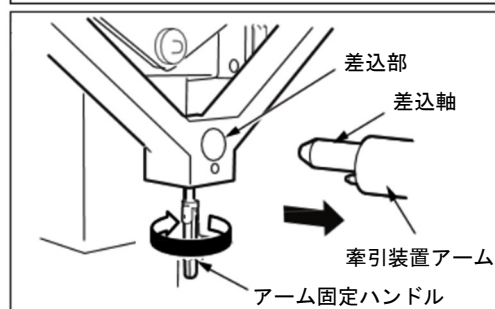
- 展開アームが下肢牽引用カートに接するように手術台
を昇降操作し、高さを調整します。



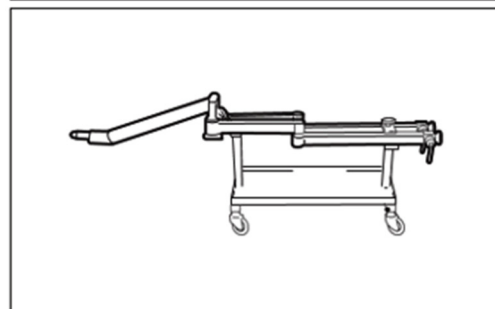
- 下肢牽引用カートのハンドルを回して、アームを固定
します。

- アーム固定ハンドルを回してゆるめます。

- 牽引装置アームの差込軸を本製品の差込部から
引き抜きます。

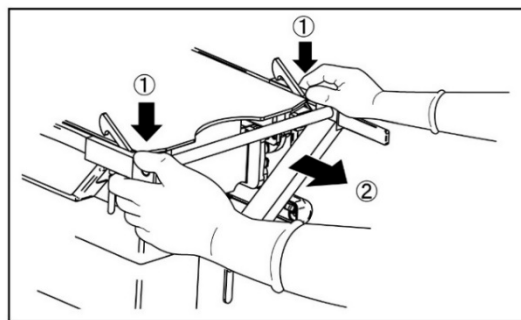


- アーム（牽引装置アームおよび展開アーム）を下肢
牽引用カートから付属品カートへ移動します。



10. 本製品の左右の固定ハンドルを回してゆるめます。

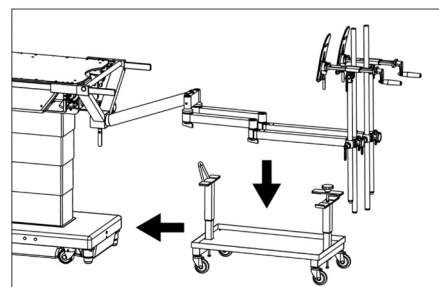
11. 左右の安全用フックを指で押し（右図①）、手術台から本製品を取り外します。（右図②）



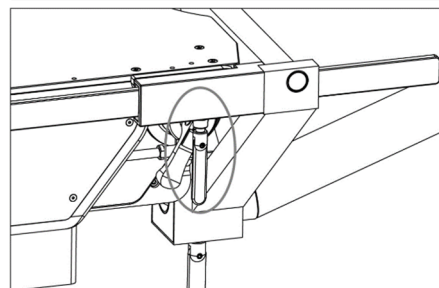
＜取外方法＞ 先に下肢牽引用V字アタッチメントⅡと牽引装置アーム・展開アームを接続させた場合本運用方法は下肢牽引用V字アタッチメントⅡのみ適用します。

1. 展開アームを右図に示すように一直線にします。

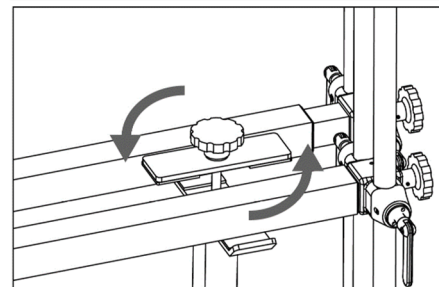
2. アームの下に下肢牽引用カートを移動します。
移動後、展開アームが下肢牽引用カートに接するように手術台のテーブルトップを下降させます。
もしサポートロッドが床面に接する場合は、サポートロッドの取り付け高さを調整してください。



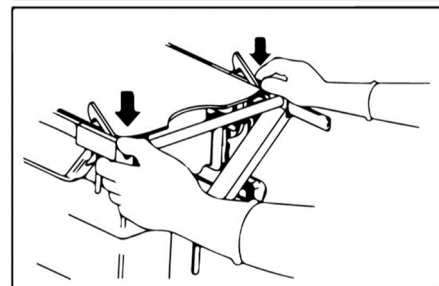
3. 本製品の固定ハンドルを回してゆるめます。



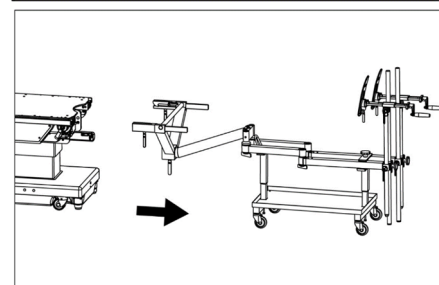
4. 下肢牽引用カートのハンドルを回して固定します。



5. 本製品の安全用フックを指で押し下げてロック解除を保持します。



6. 下肢牽引用カートを移動し、本製品を手術台から引き抜きます。
アーム固定ハンドルをゆるめ、牽引アームから本製品を取り外します。高さ調整ハンドルをゆるめ、牽引器・サポートロッドを取り外します。



4. 保守・点検

4-1. ご使用前後の点検

- ・ご使用前後は本製品に破損がないか点検を行ってください。

4-2. 清掃と消毒

- ・本製品を使用した後は、必ず以下の手順で清掃および消毒をしてください。
 1. 手術台に接続しているものは、手術台から取り外します。
 2. 糸くずの出ない清潔な布に適量の消毒液等をつけて、本製品の表面を消毒します。
 3. 消毒後15分以内に清潔な布で拭き拭きします。
- ・必ず弊社確認済みの消毒液等を使用してください。弊社確認済みの消毒液等は以下のとおりです。

	薬品名称	濃度
a	次亜塩素酸ナトリウム	0.1%
b	ハイポアルコール	10%
c	グルコン酸クロルヘキシジン	0.5%
d	塩化ベンザルコニウム	10%
e	消毒用エタノール	80%
f	イソプロピルアルコール	99.5%

4-3. 保守点検

- ・本製品が故障したと思われるときは、本製品に「故障」・「使用禁止」等の適切な表示をし、ご購入店又は弊社に連絡してください。
- ・保守・点検は弊社及び弊社が認めた業者のみが実施可能です。それ以外の業者による保守・点検は、有害事象の発生、性能・機能低下の事態を招くおそれがあります。

4-4. 廃棄時の注意

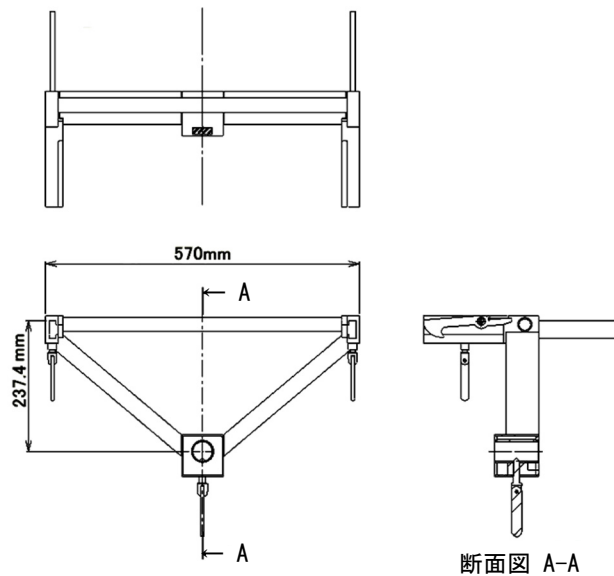
- ・廃棄する際は、関係する法律又は地方自治体の条例に基づいて適切に処置してください。

5. 仕様

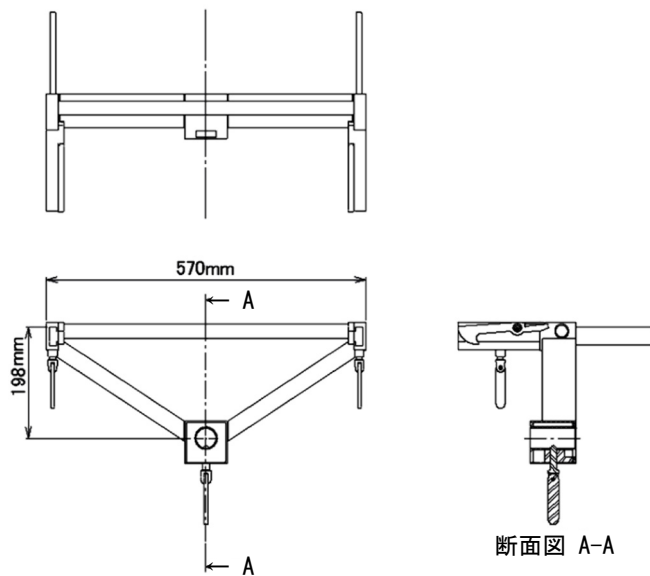
本製品の仕様は以下のとおりです。

5-1. 下肢牽引用V字アタッチメントⅡ

販売名	下肢牽引用Vアタッチメント
製造販売届出番号	13B1X00306N10030



商品コード	商品名	質量 (kg)
08-115-80	下肢牽引用V字アタッチメントⅡ	6.9



商品コード	商品名	質量 (kg)
08-115-81	下肢牽引用V字アタッチメント カセット対応Ⅱ	6.8

5-2. 環境及び耐用期間

使用環境	周囲温度範囲	10°C~40°C
	相対湿度範囲	30%~75%
	気圧範囲	700hPa~1060hPa
輸送及び 保管条件	周囲温度範囲	-10°C~50°C
	相対湿度範囲	10%~85%
	気圧範囲	700hPa~1060hPa
耐用期間	適切な保守点検および適切な保管をした場合：7年	

ミズホ株式会社

<https://www.mizuho.co.jp>

■本社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-30-13

販売事業部 TEL 03-3815-3097 FAX 03-3813-5068

■営業拠点

北海道センター 〒060-0807 札幌市北区北7条西2-6 37山京ビル2F
TEL 011-716-4731 FAX 011-716-4803

東北センター 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-11-2 SK仙台ビル2F
TEL 022-227-1688 FAX 022-227-1698

新潟センター 〒951-8068 新潟市中央区上大川前通七番町1230-7 ストークビル鏡橋6F
TEL 025-229-5458 FAX 025-222-4684

北関東センター 〒113-0033 東京都文京区本郷3-30-13
TEL 03-3815-3193 FAX 03-3815-1280

東海センター 〒464-0075 名古屋市千種区内山3-17-4 スズシン第2ビル3F
TEL 052-732-7130 FAX 052-732-7131

関西センター 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-10-24 三共本町ビル7F
TEL 06-6444-3840 FAX 06-6444-3860

中国センター 〒730-0029 広島市中区三川町7-7 三川町パーキングビル13F
TEL 082-241-8826 FAX 082-241-8836

九州センター 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-1-1 ZENNO筑紫通ビル5 F
TEL 092-431-5022 FAX 092-474-4483

■関東圏 販売網（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）

ミズホアーバン株式会社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-29-3
TEL 03-3811-0350 FAX 03-3811-1880

■アフターサービスカスタマーセンター 〒285-0808 千葉県佐倉市太田2173-13

訪問修理受付 TEL 043-481-3367 FAX 043-481-3374

預り修理受付 TEL 043-481-3368 FAX 043-481-3375

■ミズホショールーム 〒285-0808 千葉県佐倉市太田2173-13

○ お問い合わせは営業担当までお願い致します。

■工場

千葉工場 〒285-0808 千葉県佐倉市太田2173-13

五泉工場 〒959-1821 新潟県五泉市赤海3631-14

2022年04月01日現在